

道標ない旅

～「自立」と「共生」を目指して～

南郷中学校

裏面は Q&A を紹介しました。

令和2年2月26日(第33号)

校長 益田 孝彦 875-9494

◆◆ 新型コロナウイルスの蔓延防止のため、南郷中では以下の保健対応を行います。 ◆◆

朝学活時に健康観察を行います。

「健康カード」を生徒全員に配布しました。ご家庭で体温測定を行い、健康カードに記入させ、保護者サインを添えて持たせて下さい。

健康カードにはいくつかの記入項目がありますが、朝の気分・体調・体温の3項目について記入下さい。

記入漏れについては学校での測定を実施いたします。その際はアルコール消毒をした体温計を貸し出しますが、他者が使用した温度計を共用することに不安を覚えるご家庭もあるかも知れません。基本はご自宅で検温させ、登校すべきかどうかしっかり判断をした後、登校させて下さるようお願い申し上げます。

○各家庭で、朝検温を行い、37度以上の熱がある際には、自宅待機させて下さい。

○37度以上の熱がある場合は、早退させます。熱以外に体調不良の症状が見られなくても、早退させますので、お子様に負担をかけないよう37度以上の熱で登校させることの無いよう、お願い申し上げます。(なお、平熱が37度を超えているというお子様については別途ご相談下さい。)

○この早退(欠席)措置は、あくまでも新型コロナウイルス対策による判断と見なし、欠席扱いには致しません。また、熱の基準以外でも、咳き込んでいるので登校判断に困っているといった場合、学校にご相談下さい。校長判断で欠席扱いしない場合があります。あくまでも集団感染発生防止措置であるように、ご家庭でのご指導もよろしくお願い申し上げます。

◆◆ 新型コロナウイルスによる肺炎とはどんな症状で、留意点は何でしょう。 ◆◆

以下に、2月24日 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議(厚生労働省 HP)の要約を紹介します。

現在、感染の完全な防御が極めて難しいウイルスと闘っています。このウイルスの特徴上、一人一人の感染を完全に防止することは不可能です。ただし、感染の拡大のスピードを抑制することは可能だと考えられます。そのためには、これから1-2週間が急速な拡大に進むか、収束できるかの瀬戸際となります。これからとるべき対策の最大の目標は、感染の拡大のスピードを抑制し、可能な限り重症者の発生と死亡数を減らすことです。

このウイルスの特徴として、現在、感染を拡大させるリスクが高いのは、対面で人と人との距離が近い接触(互いに手を伸ばしたら届く距離)が、会話などで一定時間以上続き、多くの人々との間で交わされる環境だと考えられます。

この1-2週間の動向が、国内で急速に感染が拡大するかどうかの瀬戸際であると考えています。そのため、我々市民がそれぞれできることを実践していかなければなりません。特に、風邪や発熱などの軽い症状が出た場合には、外出をせず、自宅で療養してください。ただし、以下のような場合には、決して我慢することなく、直ちに都道府県に設置されている「帰国者・接触者相談センター」にご相談下さい。

●風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている(解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます)

●強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある

※高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合

◆◆ 学校の主たる行事対応は以下の通りです。 ◆◆

2月27日(木) 各学年の旅行的行事は中止 (1学年は、次年度への延期を考慮に入れての中止です)
⇒ 3時間下校(昼食なし) 部活動なし
3学年:卒業記念レク 1・2学年:1・2校時 学年授業、3校時 総合

3月2日(月) 全校芸術鑑賞会は中止
⇒ 3時間下校(昼食なし) 部活動は顧問裁量で実施する場合有
晴天時メニュー
全学年 1校時 学活 2・3校時 3年生を送る会(校庭で実施)
雨天時メニュー
各学年時間をずらして 3時間学年授業等を実施

これらの行事に伴うキャンセル料の扱いについては、町教委や業者と現在交渉中です。今しばらくお待ちください。

状況の変化もあって考えています。2/26時点でのコロナウイルス情報の提供です。今後専門家の判断等も変わることも考えられます。またフェイクニュースも出ています。冷静に対応していきましょう。

新型コロナウイルスQ&A

令和2年2月22日時点版

心配な時には

Q1 風邪のような症状があり心配です。どうしたらいいですか？

A 発熱などの風邪の症状があるときは、学校や会社を休むなど、外出を控えてください。毎日体温を測定して記録しましょう。

Q3 最寄りの保健所等(帰国者・接触者相談センター)に相談するとどうなりますか？

A 電話での相談を踏まえて、感染の疑いがある場合には、必要に応じて、新型コロナウイルス感染症患者の診察ができる「帰国者・接触者外来」を確実に受診できるよう調整します。

予防について

Q4 新型コロナウイルスにはどうやって感染しますか？

A 現時点では、飛沫感染と接触感染の2つが考えられます。

- ① 感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫による「飛沫感染」
- ② ウイルスに触れた手で口や鼻を触ることによる「接触感染」

医療機関を受診するとき

Q6 医療機関を受診するときに気を付けることはありますか？

A 複数の医療機関を受診せず、「帰国者・接触者相談センター」等から紹介された医療機関(「帰国者・接触者外来」など)を受診してください。受診するときは、マスクを着用し、手洗いや咳エチケットを徹底してください。

Q2 感染したかも?と思ったらどうしたらいいですか？

A 以下の場合には、最寄りの保健所等にある「帰国者・接触者相談センター」に電話で相談しましょう。

- ① 風邪の症状や37.5度以上の熱が4日以上続く
- ② 強いだるさや息苦しさがある



・重症化しやすい高齢者や基礎疾患がある方に加えて、念のため妊婦さんは、こうした状態が2日程度続いたら相談しましょう。

・症状がこの基準に満たない場合には、かかりつけ医や近隣の医療機関にご相談ください。

Q5 感染予防のためにできることはありますか？

A 以下のことを心がけましょう。

- ① 石鹸やアルコール消毒液などによる手洗い
- ② 正しいマスクの着用を含む咳エチケット
- ③ 高齢者や持病のある方は公共交通機関や人込みを避ける

新型コロナウイルスについて

Q7 感染しても症状が出ない人がいますが、その人からも感染しますか？

A 現状では、はっきりしたことはわかっていません。通常、肺炎などを起こすウイルス感染症の場合、症状が最も強く現れる時期に、他者へウイルスをうつす可能性も最も高くなると言われています。

